

2017年3月1日

北近畿経済新聞（4面）に掲載されました

# 製薬業界へも販路を

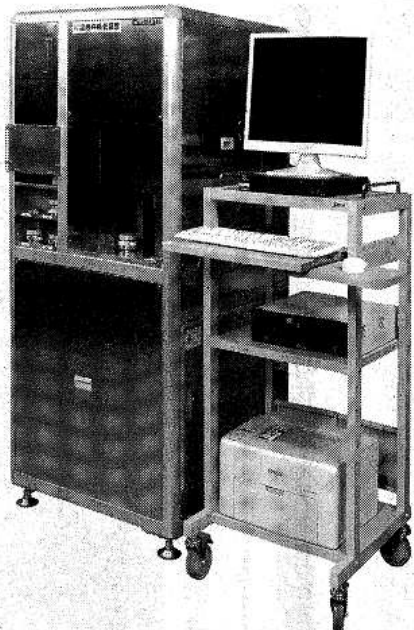
## 打錠用杵測定装置を開発

綾部の日東精工

ねじメーカーの日東精工(株)（本社・綾部市井倉町、材木正司社長）は1日、製薬業界向けに錠剤を成形する部品の寸法を測定する「打錠用杵測定装置」を開発し、1日から販売を開始した。

同社は自動組立設備や検査設備の開発も手掛け、そのノウハウを結集した小物部品検査選別装置「ミストル」は自動車業界を中心に高い評価を得ている。同社が進める事業領域拡大のため、ミストルの技術を応用して打錠用杵測定装置を開

発。製薬業界進出への足掛かりとする。



錠剤の成形は、粉末状の薬剤を計量して「臼」に入れ、「杵」と呼ぶ部品で上下から加圧する。この臼と杵の製造には厳重な寸法管理と精度が求められる。管理の良否が錠剤

の品質を左右する。

同社が開発した測定装置は、上下から加圧する杵の寸法を測定するもので、高精度センサーや寸法測定器を用いて杵の全長や底部から打錠面までの高さ、軸径を計測、CCDカメラで上方から打錠面を撮像することもできる。

**年20台販売をめざす**

オープン価格で製薬業界や食品業界向けに年20台の販売を目指している。  
〔岡田〕